

かわぐち消化器内科

第28回

AI(人工知能)と内視鏡

AIは現在様々な分野に取り入れられ飛躍的な進歩を遂げています。内視鏡にもAIが活用される時代がやってきました。胃カメラ、大腸カメラは医者が内視鏡を操作して、胃や大腸を観察し、ポリープなどの病変を発見し、診断や治療を行っています。AIは病変の見逃しを防いでくれます。最近の研究では、AIにより大腸ポリープの見逃し率が約50%減少し、検出率が10%~20%向上することが報告されています。見つけた病変の診断もAIはしてくれます。医師の診断と照らし合わせることで診断の精度が増します。胃カメラでは胃の隅々まで観察できているかのチェック、大腸カメラでは挿入時の進行方向の道案内の役割など、今後の開発が期待されています。AIは医師の診断をサポートし、より高精度の検査を可能にし、ポリープの早期発見と治療に貢献することが期待されます。当院でも大腸内視鏡にAIを導入しましたので、ぜひご期待ください。



院長 川口 義明



かわぐち 消化器内科

TEL 045-830-5311

港南区港南台5-23-30

港南台医療モール3F



〔診療時間〕

午前 9:00-12:00

午後 16:00-17:30

〔休診〕

木曜・日曜・祝日

(土曜午後)

